

## 日本獣医師会と中国獣医師協会との意見交換会及び 交流会の開催

5月13日、中国獣医師協会の代表団が日本獣医師会事務局を訪問し、本会会議室において両国の獣医事に関する意見交換会が開催された。

意見交換会では、冒頭に日本獣医師会の藏内会長から中国代表者に対する歓迎の意が表され、初めて両会の代表者が公式に意見交換を行う場が設定されたことを高く評価する旨述べられた。さらに、本会が平成4年度から14年度の間に行った国際獣医師育成研修事業において18人の研修生を中国から迎え、国内の獣医学系大学での1年間の研修の後帰国したこと、その研修生の1人である北京農学院教授の陳武氏が中国獣医師協会の理事を務めておられ、今回の意見交換会の設定において両会の架け橋となって活躍されたことが紹介された(図1)。

中国側の代表である才中国獣医師協会副会長からは、これまで中国における獣医技術の発展は遅れていたが、最近では産業動物、小動物獣医療とも海外の技術を取り入れて向上しており、今後は、日本獣医師会との学術交流を深め、日本獣医師界を目標にさらなる獣医学術の向上を図っていききたい旨挨拶が行われた(図2)。

挨拶の後、両国からの記念品が交換され、中国側からは、“One World, One Health”の中国語訳である「同世界、共健康」という隸書の書が藏内会長に贈られた(図3)。

その後、中国側から提示された意見交換の課題である①日本獣医師会の組織及びその活動について、②日本の獣医師における卒後継続教育について、③日本の動物診療施設の現状、特に施設・業務・就業する獣医師の管理について、④日本の獣医学教育の現状について、⑤日本の動物保険制度の現状について、⑥獣医師専門医制度、動物看護師制度等について、準備した資料に基づいて日本獣医師会側から説明が行われた後、意見交換が行われた。

### 意見交換会の出席

日本獣医師会：

会 長 藏内勇夫      副 会 長 近藤信雄  
副 会 長 砂原和文      副 会 長 酒井健夫  
専務理事 矢ヶ崎忠夫

中国獣医師協会：

中国獣医師協会 副会長兼秘書長  
才 学鹏 (Cai Xuepeng(男))

中国獣医師協会 副会長  
銭 洪源 (Qian Hongyuan(男))

中国獣医師協会 理事  
陳 武 (Chen Wu(男))

中国動物疫病予防制御センター  
馮 学俊 (Fen Xuejun(男))

中国獣医師協会 卒後教育センター  
邢 海雲 (Xing Haiyun(女))

意見交換会終了後、会場を明治記念館(東京都港区)に移し、わが国の獣医関係企業からも出席いただいて日中の交流会が開催された。交流会における藏内会長の挨拶では、前日、台風がわが国の南海上を駆け抜けたことから、台風一過の好天が日中獣医師会の交流に大いに期待されることになぞらえて、今回の中国代表団の訪問の成功を確信する旨述べられた。また、才副会長からは、中国においていかに多数の家畜、家庭動物が飼育されているかが紹介され、わが国の獣医関係企業にとっても魅力ある市場であることが強調された(図4, 5)。

その後、近藤副会長と銭副会長の音頭で乾杯が行われた後、中国語・日本語の両方を解する各企業からの参加者を交えて、活発に歓談が行われた。途中から参加した日本獣医師政治連盟 北村委員長からは、田中角栄元総理大臣の時代に訪中した際の経験談が紹介され、交流会は終始和やかな雰囲気で行われた。

最後は、砂原副会長から挨拶が行われ、交流会は閉会された(図6)。



図1 意見交換会での藏内会長挨拶



図4 交流会での藏内会長挨拶



図2 意見交換会で中国獣医協会の才副会長挨拶

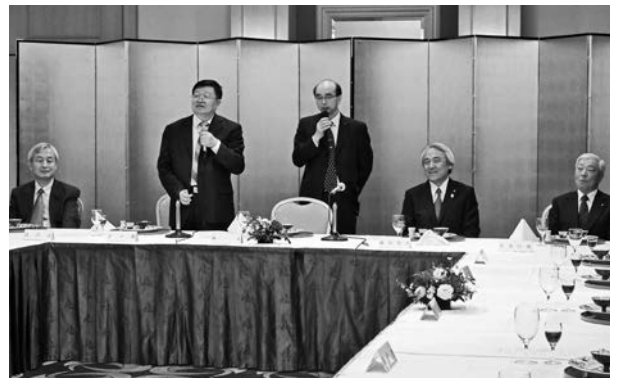


図5 交流会での才副会長挨拶

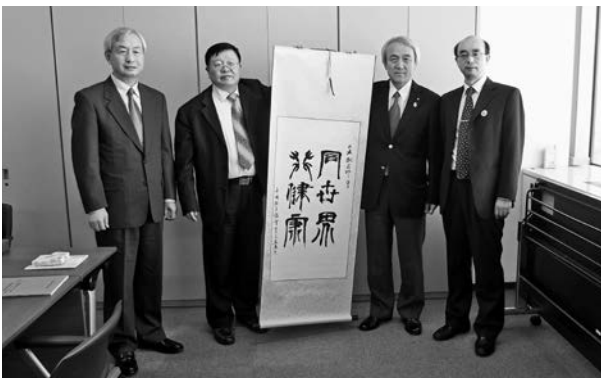


図3 意見交換会で中国獣医協会より、「同世界、共健康」の書贈呈



図6 交流会で藏内会長（前列右から5人目）と才副会長（同6人目）他